



保育理念

- 1、乳幼児期の子どもの最善の利益を守る保育園
- 2、地域の多様な子育ての要求を受け止め助ける保育園
- 3、すべての子どもたちが健やかに育ち、すべてのものの生命を大切に、平和な社会をめざす保育園

保育目標

- 1、人格を尊重し、一人ひとりの発達を援助する
- 2、保護者と子育てを協同する
- 3、保育園の社会的役割をはたす

めざす子ども像

- 1、心身ともに健康な子ども
- 2、自分の要求を持ち、豊かに表現し実現しようとする子ども
- 3、自分を大切に、仲間を大切にしている子ども

【中学生の感想】

一緒に鬼ごっこをした時「危ないから線の内側で走ろうね」と何度も言っても時間がたつと、外側に出てしまう子が多くいました。その後、トイレを借りた時に「日めくりカレンダー」の言葉を見ました。そこには「子どもは言っても言っても同じ失敗をするものです」と、書いてありました。その言葉を見て、だから根気強く教えなければならないんだと気づきました。みんなが、大きくなってルールを守れるように成長していけるのは、何度も繰り返し教えてくれる人がいるからだと思います。

今回の職場体験を通して、子どもとかかわることは、決して簡単ではないけど、子どもと同じ目線で子どもの日常を支えていくことで、子どもの将来の為の生活習慣を作ることができる保育士さんは、大変で、素敵なお仕事だと実感しました。

子ども達が、遊びたい遊びの意見が分かれてしまっても決定した遊びを全員で楽しもうとしている姿勢が印象に残りました。

絵本の読み聞かせをしました。同じ本を1冊4回くらい読みました。読んでいるうちにだんだん感情のこめ方がわかってきました。のどが渴いたけど、楽しかったです。

今年度も3つの中学から職場体験の申し込みがあり、合計で9人の中学生が、保育に入りました。子どもとかかわるのは初めて、という方がほとんどでしたが、みんなすぐに子ども達と打ち解けて楽しそうに遊んでいました。将来お父さん、お母さんになる方たちに日常的に子ども達とかかわって、子どもと過ごすことが楽しく、尊いことなんだと感じられる機会をもっともっと増やして欲しいと感じています。

今月は、幼児クラスの行事「子どもの会」を行います。昨年度は「お話し会」として、文学を主にしましたが、今年度は、そのクラスのやりたいこと、得意なことを行事につなげていこうということで、何をやるかお楽しみでした。そこで、今年度はくじゃく組は、「わらべうたと構造」、はくちょう組は「わらべうたと工作」に決めました。各クラス、保護者の見学は、可能ですが動画配信も行いますので、よろしく願いいたします。

園長 真鍋 桂子

12月の予定

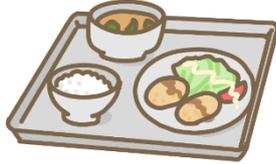
- 12日(木) 健康診断(乳児)
- 12日(木) くじゃく組 「子どもの会」
10:00~
- 13日(金) はくちょう組「こどもの会」
10:00~
- 18日(水) 身体測定(幼児)
- 19日(木) 身体測定(乳児)
- 20日(金) 日本女子体育大学の学生がクリスマスのうたとお話しの会をしてくれます。
9:30~ 2才児・幼児
- 29日(日)~1月3日(金) まで保育園はお休みになります。



11月15日に試食会を行いました！



栄養士3人で何度も話し合いを重ね企画・準備した試食会でした。全員で11人の方の参加がありました。参加された方の感想を給食だよりの一部載せましたが、とてもいい感想がたくさんあったので、ここで、ご紹介します。



葉もの野菜の調理方法や具体的なレシピまで頂けて、家でやってみようと私のやる気までアップしてもらえ本当に良かったです！

普段の子どもの食事には気を使いたいので、今回の試食会でより園のことを知ることができ、安心して預けることができるなど、再確認するいい機会にもなりました。

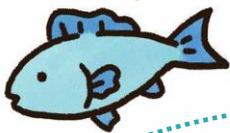
大人が食べてもどれも美味しく、素材を生かされたうまみたっぷりのご飯ばかりでした。

まだ、0才児なので、来年度以降のメニューを食べることができて良かったです。



魚もとろみをつけると食べやすく、とても参考になりました。

子どもの苦手な野菜を小さく切ってスープに入れると教えていただいて、実際の野菜の小ささにびっくりしました。いつも子どもの為に工夫して作ってくださってありがとうございます。



家庭ではなかなか食べられない物や手間をかけた食事で、子どもも毎日楽しんで食べているんだなと思いました。これからもよろしくお願いします！

